【台湾】

1-2 月の市場動向トピックス

- 2019 年 1 月の訪日台湾人数は、前年同月比 10.5%増の 387,500 人であった。
- 2019 年 2 月の訪日台湾人数は、前年同月比 0.3%減の 399,800 人であった。
- 1 月は北海道ふっこう割を利用した旅行商品の出発販売や春節休暇の前倒し需要もあり、4 月以来、9 か月ぶりに 2 桁台の大幅な伸びを記録した一方、2 月は、春節期の旅行の前倒し需要が見られたほか、当該期間に中華航空のストライキが発生したことによる日本路線の欠航もあり、訪日者数は前年同月比微減となった。

1-2 月の主なプロモーション活動

✷ 災害の影響で訪日客数が伸び悩む北海道地域および関西地域への誘客を促進するため、台北、台中において現地メディアによる情報発信のためのイベントを開催した。イベントではプロモーション動画をお披露目し、実際に出演した有名タレントである劉以豪氏を招き、北海道と関西の魅力を発信した。イベントには 200 名を超える一般消費者が参加し、大盛況であった。プロモーション動画ならびにイベントの一部始終を記録した動画を VJ 台湾市場公式サイト「日本旅遊活動」に格納し、イベント参加者だけで無く広く一般消費者に効果が波及している。

（現地メディアによる情報発信のための北海道・関西を中心とした動画公開イベント）

✷ 1 月 30 日に大阪－台北に新規就航したエアアジア X、2 月 1 日に名古屋－台北に新規就航したエアアジアジャパンと共同広告を実施した。台北 MRT での屋外広告や旅行雑誌への掲載、オンラインでのバナー広告を中心に広告宣伝し、新規就航情報の普及、搭乗率の向上と共に、新規就航エリアの観光の魅力を発信した。

（エアアジア X、エアアジアジャパンとの共同広告の実施）